

いつも優しい
シゲくんは
同じ大学のゲイ友だ。



好みのジャンル？は違うけど、
お酒やアニメ好き同士
仲良くさせてもらってる。

夏休みだというのに
今は両方とも彼氏もなし、
夏イベント参加もなし…(悲)

予定を合わせて、はじめて
二人で温泉旅行に来た。

まずはビールで
乾杯しますか♪

あつ
お土産屋でマナブくんが
好きそうな
日本酒
買ったんですよ
冷やしときますね

工学部3年 シゲル

全然タイプじゃないから
エロいことは起こらない。

だからこそお互い
リラックスできる
良い関係だと思う。

(なぜかいまだに敬語だけど)

そう、何年も
思っていたんだけど――

文学部3年 マナブ

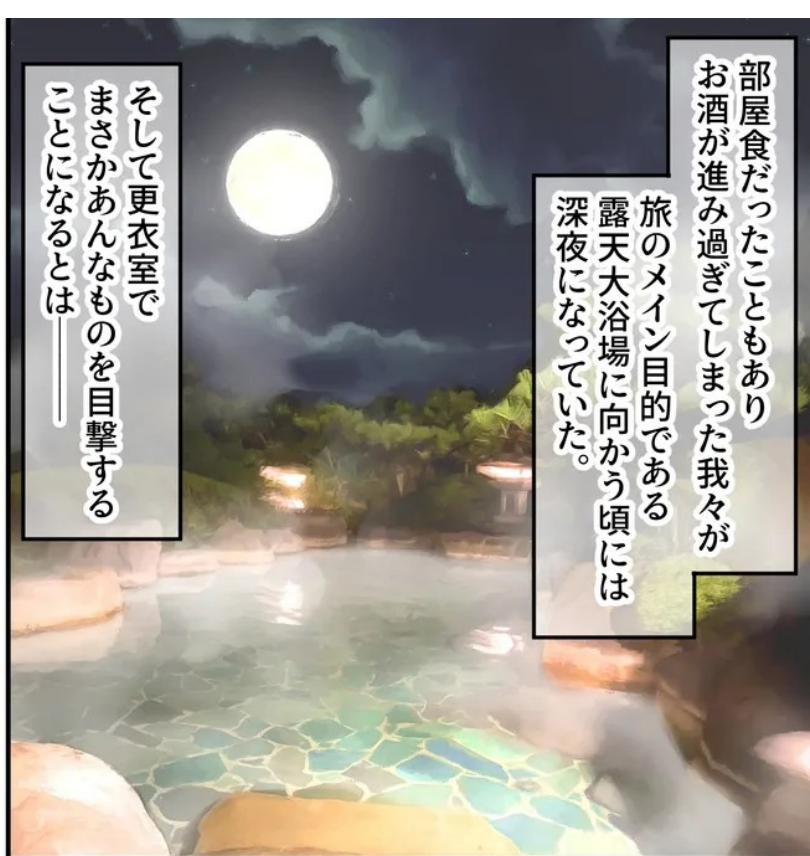
episode.04

タイプじゃない友達との
温泉でちんぽに負けた話

部屋食だったこともあり
お酒が進み過ぎてしまった我々が

旅のメイン目的である
露天大浴場に向かう頃には
深夜になっていた。

そして更衣室で
まさかあんなものを目撃する
ことになるとは――



んー…ちよつと
飲み過ぎたな

のぼせる前に
出なくちゃ

!?

ロケッ!!

ぬきっ…

モジモジ

めちやくちや
勃つとるっ!

え?っか
反りかえり
えげつなッ!!

シゲくんがパンツを下ろした
途端、勢いよく勃起した
巨大な赤黒いペニス
飛び出して来るなんて!

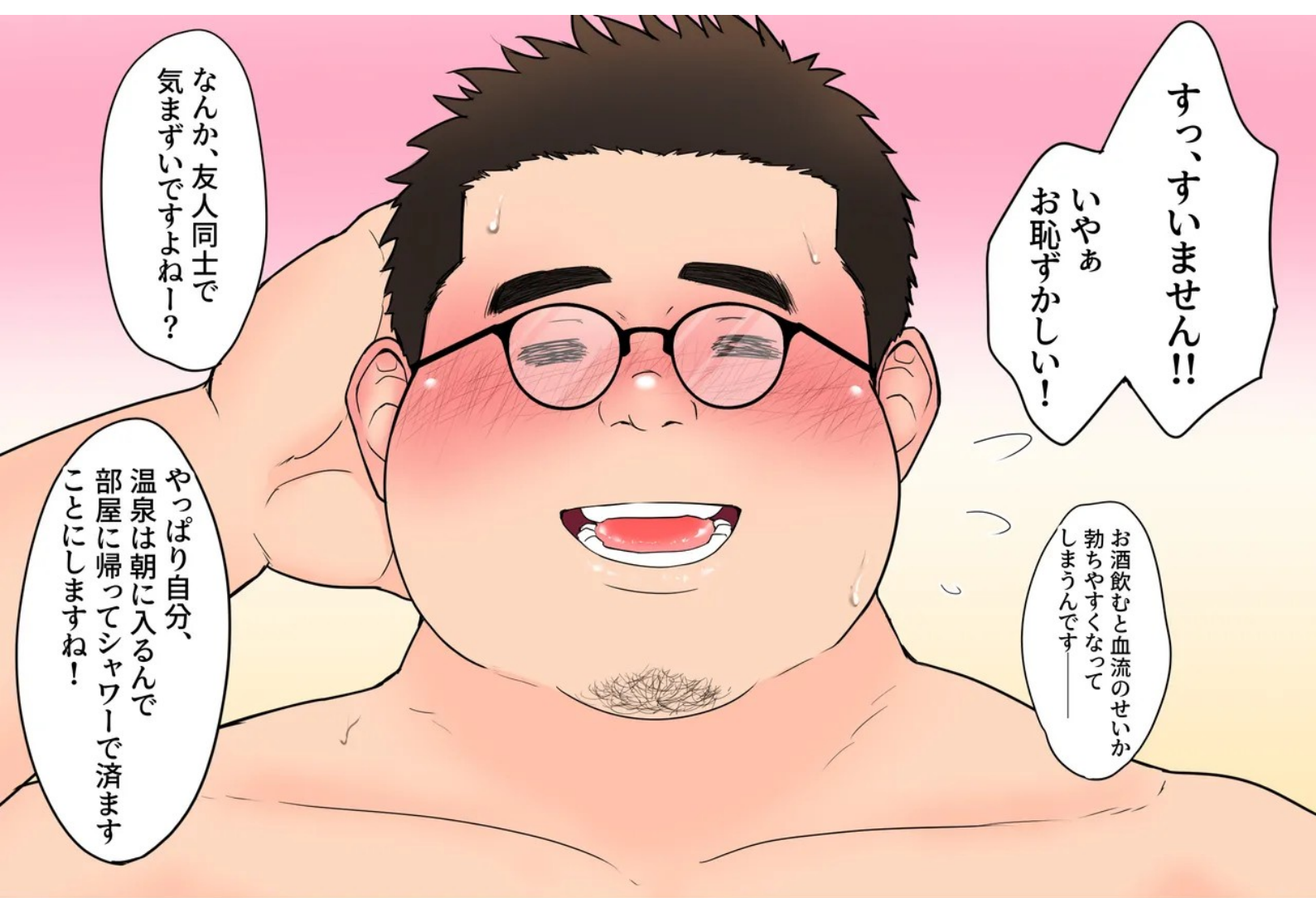
美味しそ
過ぎんかコレ…

ドゥル

ピキピキ

ぶるん





すっ、すいません!!

いやあ
お恥ずかしい!

お酒飲むと血流のせい
か
勃ちやすくなつて
しまうんです

なんか、友人同士で
気まずいですよねー?

やっぱり自分、
温泉は朝に入るんで
部屋に帰ってシャワーで済ます
ことにしますね!



あー、
わかります。

俺もお酒飲むと
やたらムラムラしちゃう
ほうなんツスよね…

あれ? そういう
話でもないか…

ドキッ
ドキッ

他のお客さんも居ないし
普通に入っちゃって
イイんじゃないツスカね?

せっかく来たのに
一人で入るのは
寂しいですし…

そういや
貸切風呂もある
みたいツスね…

貸切風呂

密室になるともうダメだ。
さっきのシゲくんと同じ勢いで
俺のチンコはパンツを跳ね出し、

ガバ

彼は俺を抱き寄せると
上は唇を合わせ下では兜合わせ、
二人して性欲が暴発していた。

勝手にシゲくんは
同系統のポチャ専だと思って
いたけど、前から俺のことは
男としてもアリだったらしい。

裸になってすぐに
俺達はキスをした。

ビクッ

これまでに恋バナとかで
シゲくんのポジションは
タチだと聞いていたから

イチャイチャとベロキスしながら
これから彼に掘られるのかあと
想像しちゃって、この時から
俺はメスになっていたんだと思う。

貸し切りの浴室で
俺はずっとイケなかったはずの
友人のペニスをひたすら食った。

のぼせない様に風呂は早々に
引き上げたけど、出来るなら
いつまでもしゃぶっていたい
極美味デカチンだった。

すっぽい

すっぽい

すっぽい

ハァ...
すっぽい

すっぽい

ムハ...

部屋に戻ったらすぐ
二人とも各々、荷物から
コンドームを探して始めて

「誰とどこに行くにも
ゴムとローション持参なんて
ゲイあるある過ぎる」
と笑い合った。

だけど実はこの夜は
そのどっちも必要なかった
のかもしれない。

途中から精液がローション
代わりで生でハメ倒されたからだ。

あられもなく尻穴を晒し
突っ伏させた俺に、シゲくんは
寝バックで野生の獣のように
その巨軀を激しく打ちつけてくる。

温和な友人の新たな一面...
その容赦ない摩擦刺激に、俺は
ただ呻り悶え続ける外なかった。

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ

気持ち良いかい？

…うんっ♡

ヤヴァっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

ふっ♡

やぁ♡

マナブくん、
トロロテンも
するんだね？

いいっ♡
いつもはッ…
しなっ♡
あっ♡
いッ…

こんなに
スケベなんてなあ…♡

あゝ、また
おしゃぶるよ

挿入時に窮屈だった会陰部は
今やゆるみまくって、ケツからは
ぐちゃぐちゃと下品な音が
部屋中に響き渡っていた。

シゲくんが腰を振りながら
首筋に唇を這わせると、
どうしても背中がのけぞってしまい、
その度にはずみでトロロテンしていた。

ゆっ♡

ゆっ♡

せーの！

せーの！

せーの！

せーの！

せーの！



彼はそのぶっ太い分身を
何度も俺のナカに
挿じり込んで
何度も激しく中出した。

ぼつてりとした彼の肉棒の
ピストンに腸壁がこだまして
ケツイキがケツイキを呼んだ。

サッパリ！

おはん

ハッ

ガッ

グッ

グッ

グッ



朝方までずっとエッチは続いた。
あまりの快感と興奮と一体感に、
俺は全身が性器になった様だった。
一つになって俺達は初めてお互いを
深くわかり合えたんだと思う。

次の日クタクタだったけど
朝からまたイチヤイチャした。
帰りのバスで俺から告った。
友情エロから始まる恋愛もあるん
だなって。温泉っていいよな♡